

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2019年8月8日
【四半期会計期間】	第37期第1四半期（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
【会社名】	株式会社カネミツ
【英訳名】	KANEMITSU CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 金光 俊明
【本店の所在の場所】	兵庫県明石市大蔵本町20番26号
【電話番号】	(078) 911 - 6645 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 執行役員 業務本部長 金光 秀治
【最寄りの連絡場所】	兵庫県明石市大蔵本町20番26号
【電話番号】	(078) 911 - 6645 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 執行役員 業務本部長 金光 秀治
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第36期 第1四半期 連結累計期間	第37期 第1四半期 連結累計期間	第36期
会計期間	自2018年4月1日 至2018年6月30日	自2019年4月1日 至2019年6月30日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
売上高 (千円)	2,324,378	2,105,319	9,121,518
経常利益 (千円)	268,715	69,165	959,156
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (千円)	201,324	32,616	702,379
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	127,432	129,914	540,968
純資産額 (千円)	9,079,792	9,557,698	9,452,809
総資産額 (千円)	12,958,903	13,693,100	13,056,727
1株当たり四半期(当期)純利 益金額 (円)	39.37	6.37	137.17
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	68.0	67.2	70.3

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、当第1四半期連結会計期間より、松本精工株式会社は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の一部に弱さがみられたものの、良好な雇用・所得環境を背景に、個人消費は緩やかな回復基調で推移しました。

自動車業界におきましては、軽自動車の販売好調が続いており、国内の自動車販売台数は前年同期比2.8%と増加しました。

このような経済状況のもとで、当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）の売上高は2,105百万円（対前年同四半期219百万円減少[ 9.4%]）となりました。利益面では、営業利益74百万円（対前年同四半期189百万円減少[ 71.7%]）、経常利益69百万円（対前年同四半期199百万円減少[ 74.3%]）、親会社株主に帰属する四半期純利益32百万円（対前年同四半期168百万円減少[ 83.8%]）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

日本は売上高1,362百万円（対前年同四半期137百万円減少[ 9.1%]）、営業損失 5百万円（対前年同四半期は営業利益107百万円）となりました。東南アジアは売上高564百万円（対前年同四半期20百万円減少[ 3.6%]）、営業利益34百万円（対前年同四半期21百万円減少[ 38.4%]）となり、中国は売上高231百万円（対前年同四半期87百万円減少[ 27.4%]）、営業利益32百万円（対前年同四半期51百万円減少[ 61.3%]）となりました。

当第1四半期連結会計期間末における総資産は13,693百万円となり、前連結会計年度末に比べ636百万円の増加となりました。流動資産は385百万円増加しましたが、主として現金及び預金の増加491百万円、受取手形及び売掛金の減少146百万円、電子記録債権の増加10百万円等によるものであります。固定資産は251百万円増加しましたが、主として建物及び構築物の増加81百万円、機械装置及び運搬具の増加31百万円、建設仮勘定の増加137百万円等によるものであります。

負債は4,135百万円となり、前連結会計年度末に比べ531百万円増加しました。流動負債は254百万円増加しましたが、主として支払手形及び買掛金の減少73百万円、短期借入金の増加62百万円、その他の増加253百万円によるものであります。固定負債は277百万円増加しましたが、主として長期借入金の増加224百万円、繰延税金負債の減少28百万円、長期未払金の増加66百万円等によるものであります。

純資産は9,557百万円となり、前連結会計年度末に比べ104百万円増加となりましたが、主として利益剰余金の減少44百万円、その他有価証券評価差額金の増加22百万円、為替換算調整勘定の増加65百万円、非支配株主持分の増加70百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は67.2%となりました。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、46百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	17,000,000
計	17,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年8月8日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	5,129,577	5,129,577	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数は100株 であります。
計	5,129,577	5,129,577	-	-

(注) 普通株式は完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (千株)	発行済株式総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
2019年4月1日～ 2019年6月30日	-	5,129	-	556,073	-	450,193

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 6,200	-	単元株式数100株
	(相互保有株式) 普通株式 10,000	-	同上
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,111,000	51,110	同上
単元未満株式	普通株式 2,377	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	5,129,577	-	-
総株主の議決権	-	51,110	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式50株が含まれております。

【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社カネミツ	兵庫県明石市 大蔵本町20-26	6,200	-	6,200	0.12
(相互保有株式) 松本精工株式会社	兵庫県加古川市 志方町横大路647	10,000	-	10,000	0.19
計	-	16,200	-	16,200	0.31

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,584,809	3,075,916
受取手形及び売掛金	1,873,736	1,727,560
電子記録債権	521,803	532,409
有価証券	-	2,475
商品及び製品	135,252	131,207
仕掛品	431,125	500,272
原材料及び貯蔵品	80,952	89,795
その他	114,038	67,390
流動資産合計	5,741,718	6,127,026
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,459,692	3,640,784
減価償却累計額	1,798,358	1,897,463
建物及び構築物(純額)	1,661,333	1,743,320
機械装置及び運搬具	8,076,770	8,381,517
減価償却累計額	6,048,891	6,321,985
機械装置及び運搬具(純額)	2,027,878	2,059,531
工具、器具及び備品	1,107,228	1,135,050
減価償却累計額	935,582	964,116
工具、器具及び備品(純額)	171,645	170,934
土地	2,130,421	2,186,345
建設仮勘定	262,112	399,839
有形固定資産合計	6,253,391	6,559,971
無形固定資産		
のれん	-	16,465
その他	129,298	134,443
無形固定資産合計	129,298	150,908
投資その他の資産		
投資有価証券	572,134	578,792
関係会社株式	223,629	105,465
その他	136,555	170,935
投資その他の資産合計	932,318	855,193
固定資産合計	7,315,008	7,566,073
資産合計	13,056,727	13,693,100



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	929,072	855,558
短期借入金	774,078	836,633
1年内返済予定の長期借入金	198,020	289,481
未払法人税等	82,973	62,724
賞与引当金	159,316	111,826
役員賞与引当金	14,107	2,205
その他	626,282	879,857
流動負債合計	2,783,851	3,038,286
固定負債		
長期借入金	286,193	510,881
長期未払金	46,380	112,380
繰延税金負債	228,666	200,348
退職給付に係る負債	233,560	248,320
その他	25,264	25,184
固定負債合計	820,066	1,097,115
負債合計	3,603,917	4,135,401
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	556,073	556,073
資本剰余金	450,193	450,193
利益剰余金	7,778,236	7,734,189
自己株式	6,687	15,837
株主資本合計	8,777,817	8,724,619
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	191,707	213,782
為替換算調整勘定	203,294	269,291
その他の包括利益累計額合計	395,002	483,073
非支配株主持分	279,989	350,005
純資産合計	9,452,809	9,557,698
負債純資産合計	13,056,727	13,693,100

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	2,324,378	2,105,319
売上原価	1,680,801	1,617,618
売上総利益	643,576	487,700
販売費及び一般管理費	379,606	413,087
営業利益	263,970	74,613
営業外収益		
受取利息	1,158	1,866
受取配当金	5,400	5,606
有価証券評価益	-	340
持分法による投資利益	2,852	-
その他	2,484	4,692
営業外収益合計	11,895	12,505
営業外費用		
支払利息	4,495	6,849
持分法による投資損失	-	3,482
為替差損	2,618	7,621
その他	37	0
営業外費用合計	7,151	17,953
経常利益	268,715	69,165
特別利益		
固定資産売却益	1,649	2,293
受取保険金	-	967
特別利益合計	1,649	3,260
特別損失		
固定資産売却損	576	-
固定資産除却損	0	266
投資有価証券評価損	-	23,548
特別損失合計	576	23,815
税金等調整前四半期純利益	269,787	48,610
法人税、住民税及び事業税	96,752	48,208
法人税等調整額	29,258	34,201
法人税等合計	67,493	14,006
四半期純利益	202,293	34,603
非支配株主に帰属する四半期純利益	969	1,987
親会社株主に帰属する四半期純利益	201,324	32,616

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	202,293	34,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,878	22,074
為替換算調整勘定	58,286	73,918
持分法適用会社に対する持分相当額	3,695	681
その他の包括利益合計	74,861	95,311
四半期包括利益	127,432	129,914
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	131,867	120,688
非支配株主に係る四半期包括利益	4,434	9,226

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間より、松本精工株式会社は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費	163,702千円	165,463千円
のれんの償却額	-	914千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月21日 定時株主総会	普通株式	61,358千円	12.00円	2018年3月31日	2018年6月22日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月20日 定時株主総会	普通株式	66,603千円	13.00円	2019年3月31日	2019年6月21日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	東南アジア	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,454,494	551,238	318,645	2,324,378	-	2,324,378
セグメント間の内部売上高又は振替高	45,543	33,823	-	79,366	79,366	-
計	1,500,038	585,061	318,645	2,403,744	79,366	2,324,378
セグメント利益	107,998	56,173	83,620	247,792	16,178	263,970

- (注)1. セグメント利益の調整額16,178千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用10,988千円及び報告セグメント間の取引の相殺消去等27,166千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	東南アジア	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,340,990	532,946	231,382	2,105,319	-	2,105,319
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,874	31,321	-	53,196	53,196	-
計	1,362,864	564,267	231,382	2,158,515	53,196	2,105,319
セグメント利益又は損失 ( )	5,581	34,620	32,362	61,400	13,212	74,613

- (注)1. セグメント利益又は損失の調整額13,212千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用10,376千円及び報告セグメント間の取引の相殺消去等23,588千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、松本精工株式会社を連結の範囲に含め、その数値を従来の区分である「日本」に含めております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	39円37銭	6円37銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	201,324	32,616
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	201,324	32,616
普通株式の期中平均株式数(千株)	5,113	5,113

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月6日

株式会社カネミツ  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	伊東 昌一	印
--------------------	-------	-------	---

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	西方 実	印
--------------------	-------	------	---

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社カネミツの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社カネミツ及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。